
緋色物語

新庄香那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋色物語

【Nコード】

N5946Y

【作者名】

新庄香那

【あらすじ】

天上界の至宝「緋石」

その警備に当たっていた若き天使アーサーとその兄アスタは、かつて地下界で悪名を馳せた「赤い悪魔」の襲撃を受ける。

緋石を奪われた責任で落翼の罰を与えられたアーサーは、地上界に降り立ち、赤い悪魔の行方を追う。

プロローグ

小高い丘の上にある古い教会。

信心の薄い私にしてみれば、これは資産価値のない「廃墟」だ。

本来ならば、この廃墟の解体にかかる費用を見積もるのが今日の私の国役人としての務めであった。だが、すんでの所で、この廃墟の買取を申し出る者が現れたために、今日はその交渉と案内のためにここを訪れている。

「どうだ、見ての通りの朽ち果て様なんだがな。その…提示の条件のまま交渉を進めていいのか？」

私は男に尋ねる。かなり、訝しげな顔をしていたかもしれない。なんせ、本来なら費用を投じて解体しようという建造物を金を出して買い取った上に、補修やその後の教会としての運営も一手に請け負うというのだ。役所としては非常にありがたい限りなのだが、ここまで都合のいい話となると逆に怪しく思ってしまうものだ。

「ああ、もちろんだ。」

男はそう答えて、契約書にサインをした。

私はその契約書を受け取り確認をする。

” A r c h e r ”

均整のとれた美しい字だ。

少し気が引けたが、その下に私のサインを追記する。

” B r a m s
”

ちっ。我ながら国役人に似つかわしくない粗末な字だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5946y/>

緋色物語

2011年11月18日05時08分発行